

第157回 日商簿記検定試験 3級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問 仕訳問題

1. 不用となった備品の簿価（取得原価－減価償却累計額）と売却金額との差額は「固定資産売却益（収益）」または「固定資産売却損（費用）」で処理する。

(借)	備品減価償却累計額	300,000	(貸)	当座預金	360,000
(〃)	現金	10,000			
(〃)	固定資産売却損	50,000			

2. 修繕に要する費用は「修繕費（費用）」で処理し、代金は来月末に支払うため「未払金（負債）」で処理する。

(借)	修繕費	230,000	(貸)	未払金	230,000
-----	-----	---------	-----	-----	---------

3. 収入印紙は「租税公課（費用）」、切手は「通信費（費用）」で処理する。

(借)	租税公課	5,500	(貸)	現金	7,500
(〃)	通信費	2,000			

4. 銀行から借り入れると同時に同額の約束手形を振り出しているため、「手形借入金（負債）」で処理し、差し引かれた利息は「支払利息（費用）」で処理する。

(借)	当座預金	2,960,000	(貸)	手形借入金	3,000,000
(〃)	支払利息	40,000			

※ $¥3,000,000(\text{借入額}) \times 2\% \times 8\text{か月}/12\text{か月} = ¥40,000$

5. 商品販売時に消費税を預かっている場合には「仮受消費税（負債）」として処理する。

(借)	売掛金	71,500	(貸)	売上	65,000
			(〃)	仮受消費税	6,500

第2問 補助簿の推定

商品有高帳

(先入先出法)

A 商品

X8年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
10	1 前月繰越	40	130	5,200				40	130	5,200
	10 仕入	100	120	12,000				100	120	12,000
	20 売上				40	130	5,200			
					90	120	10,800	10	120	1,200
	25 仕入	50	125	6,250				50	125	6,250

仕入帳

売上帳

X8年	摘要	金額	X8年	摘要	金額
10	10 東京商店 掛		10	20 ㈱秋田商店 掛	
	A商品 100個 @ ¥120	12,000		A商店 130個 @ ¥220	28,600
	25 山口販売株 掛				
	A商品 50個 @ ¥125	6,250			

- ※1 商品有高帳の前月繰越については、10月20日売上げの130個から既に記入されている90個を控除することに求められる。
- ※2 商品有高帳の10月10日については、仕入帳より求められる。
- ※3 仕入帳の10月25日については、商品有高帳10月25日より求められる。

第3問 合計試算表の作成

1日	(借) 仕入	1,200,000	(貸) 買掛金	1,200,000
3日	(借) 売上	30,000	(貸) 現金	30,000
5日	(借) 広告宣伝費	50,000	(貸) 現金	50,000
8日	(借) 受取商品券	200,000	(貸) 売上	2,000,000
	(〃) 現金	550,000		
	(〃) 売掛金	1,250,000		
10日	(借) 所得税預り金	50,000	(貸) 普通預金	50,000
12日	(借) 備品	600,000	(貸) 仮払金	600,000
15日	(借) 受取商品券	250,000	(貸) 売上	750,000
	(〃) 現金	500,000		
16日	(借) 普通預金	1,000,000	(貸) 現金	1,000,000
18日	(借) 借入金	300,000	(貸) 普通預金	306,000
	(〃) 支払利息	6,000		
20日	(借) 給料	350,000	(貸) 所得税預り金	35,000
			(〃) 社会保険料預り金	30,000
			(〃) 普通預金	285,000
22日	(借) 仕入	600,000	(貸) 買掛金	600,000
25日	(借) 買掛金	2,100,000	(貸) 普通預金	2,100,200
	(〃) 支払手数料	200		
	(借) 普通預金	800,000	(貸) 売掛金	800,000
26日	(借) 普通預金	450,000	(貸) 受取商品券	450,000
28日	(借) 支払家賃	200,000	(貸) 普通預金	200,000
29日	(借) 水道光熱費	150,000	(貸) 普通預金	180,000
	(〃) 通信費	30,000		
30日	(借) 社会保険料預り金	29,000	(貸) 普通預金	58,000
	(〃) 法定福利費	29,000		

第4問 空欄補充

1. 給料から差し引かれる所得税の源泉徴収税額は、会社が支払う税金ではなく、給料を受け取る従業員が支払うべきものを預かっているにすぎないため、費用として処理するのではなく負債として処理する。
2. 当座預金の引出しには、一般的に小切手が使われる。そのため、小切手の振出しは当座預金の減少として処理されるが、他社が振り出した小切手を受け取った場合には、当該小切手が即時支払い手段となりうる通貨代用証券に該当するため、簿記上では現金として処理する。

3. 前期に生じた売掛金が当期中に回収不能となった場合には、前期末の決算において、当該売掛金が貸倒引当金の設定対象となっているため、貸倒引当金を取り崩すことができる。しかし、当期に発生した売掛金が当期に回収不能となった場合には、前期の決算において、貸倒引当金の設定対象とはなっていないため、貸倒引当金を取り崩すことはできず、貸倒損失として処理する。
4. 決算予備手続きでは試算表（決算整理前残高試算表）を作成し、決算本手続きで行う決算整理仕訳の準備を行うことになる。最終的には外部に報告するために財務諸表（損益計算書・貸借対照表）が作成される。
5. 勘定は、主要簿である総勘定元帳に収められる。主要簿とは、総勘定元帳と仕訳帳の2つのことをいう。

第5問 決算整理後残高試算表の作成

決算整理仕訳は以下のとおりである（決算整理前残高試算表を「前T/B」と省略する）。

1. 現金の整理

(借) 雑	損	1,000	(貸) 現	金	1,000
-------	---	-------	-------	---	-------

※ 雑損：¥97,000（前T/B現金）－¥96,000（手許現金）＝¥1,000

2. 当座預金勘定の振り替え

(借) 当	座	預	金	197,000	(貸) 借	入	金	197,000
-------	---	---	---	---------	-------	---	---	---------

3. 売掛金の回収

(借) 普	通	預	金	158,000	(貸) 売	掛	金	158,000
-------	---	---	---	---------	-------	---	---	---------

◆ 普通預金：¥911,000（前T/B普通預金）＋¥158,000＝¥1,069,000

◆ 売掛金：¥558,000（前T/B売掛金）－¥158,000＝¥400,000

4. 貸倒引当金の設定

(借) 貸	倒	引	当	金	繰	入	3,000	(貸) 貸	倒	引	当	金	3,000
-------	---	---	---	---	---	---	-------	-------	---	---	---	---	-------

※ ¥400,000（前T/B売掛金）×2%－¥5,000（前T/B貸倒引当金）＝¥3,000

◆ 貸倒引当金：¥5,000（前T/B貸倒引当金）＋¥3,000＝¥8,000

5. 売上原価の算定

(借) 仕	入	290,000	(貸) 繰	越	商	品	290,000
(借) 繰	越	商	品	350,000	(貸) 仕	入	350,000

◆ 仕入：¥290,000（前T/B繰越商品）＋¥3,400,000（前T/B仕入）

－¥350,000（期末商品棚卸高）＝¥3,340,000

6. 減価償却費の計上

(借) 減	価	償	却	費	180,000	(貸) 建	物	減	価	償	却	累	計	額	50,000							
													(〃) 備	品	減	価	償	却	累	計	額	130,000

※ 建物減価償却累計額：¥2,000,000（前T/B建物）÷40年＝¥50,000

※ 備品減価償却累計額（既存分）：{¥800,000（前T/B備品）－¥300,000（新規分）} ÷5年＝¥100,000
 （新規分）：¥300,000 ÷5年×6か月（10月～3月）/12か月＝¥30,000

◆ 建物減価償却累計額：¥500,000（前T/B建物減価償却累計額）＋¥50,000＝¥550,000

◆ 備品減価償却累計額：¥200,000（前T/B備品減価償却累計額）＋¥130,000＝¥330,000

7. 前受手数料の計上

(借) 受	取	手	数	料	20,000	(貸) 前	受	手	数	料	20,000
-------	---	---	---	---	--------	-------	---	---	---	---	--------

◆ 受取手数料：¥140,000（前T/B受取手数料）－¥20,000＝¥120,000

8. 前払保険料の計上

(借) 前 払 保 険 料	12,000	(貸) 保 険 料	12,000
---------------	--------	-----------	--------

※ $¥48,000 \times 3 \text{ か月 (4月~6月) } / 12 \text{ か月} = ¥12,000$

◆ 保険料： $¥60,000$ (前T/B保険料) $- ¥12,000 = ¥48,000$

9. 法人税等の計上

(借) 法 人 税 等	490,000	(貸) 仮 払 法 人 税 等	150,000
		(〃) 未 払 法 人 税 等	340,000

※ 未払法人税等： $¥490,000 - ¥150,000$ (前T/B仮払法人税等) $= ¥340,000$

10. 損益勘定による当期純損益の計算 (問2)

損			益		
3/31	仕 入	3,340,000	3/31	売 上	6,600,000
〃	給 料	1,500,000	〃	受 取 利 息	120,000
〃	旅 費 交 通 費	55,000			
〃	保 險 料	48,000			
〃	貸倒引当金繰入	3,000			
〃	減 価 償 却 費	180,000			
〃	雑 損	1,000			
〃	法人税、住民税及び事業税	490,000			
〃	繰越利益剰余金	1,103,000			
		<u>6,720,000</u>			<u>6,720,000</u>